

亀山サンシャインパークでアンケート調査を実施しました

11月26日（木）～29日（日）に、東名阪自動車道の亀山パーキングエリア（PA）に併設される都市公園「亀山サンシャインパーク」で平日2日と土日2日の合計4日間にわたり、アンケート調査を実施しました。その目的は、高速道路の通過需要をいかに取り込み、亀山サンシャインパークの活性化に結び付けるかということです。三重県県土整備部とNEXCO 中日本の協力を得て、高速道路の上りPAと下りPAならびに「亀山ハイウェイオアシス館」の施設内で調査を実施しました。

アンケート調査は、学生2人1組を基本とする対面式で実施しました。期間中は連日とも気温が低く、風も強かったにも関わらず、26日は119枚、27日は202枚、28日は254枚、29日は190枚の計765枚を回収することができました。この数は、当初の達成目標にしていた1組あたり20枚、合計380枚を大きく超える結果となりました。



↑写真1 アンケート回答者に配付した景品

また、アンケートの回収効率を上げるために景品を用意するなどの工夫もしました。なかには、人気ですぐに数が無くなってしまった物もあり、とても皆さんに喜んでいただき好評でした。



↑写真2 アンケート調査の様子

三重県や亀山サンシャインパークを交えた事前学習を踏まえた調査票の作成にはじまり、幾度の修正を経て調査の実施に至りました。今後の集計・分析作業の結果にもとづき、解決すべき課題を発見して、亀山サンシャインパークの活性化につなげていく計画です。



また、学生にとってアンケート調査ははじめての経験で慣れないことも多いため、モチベーションを上げる工夫として、曜日ごとに回収枚数1位のペアには賞品として亀山ユニット長の学生より手作りのお菓子をプレゼントするという発案をしました。このことも、予想を上回る回収枚数を達成できた要因だと考えています。

←写真3 1位の学生に対する賞品の受け渡しの様子